

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年8月5日(2021.8.5)

【公開番号】特開2021-45596(P2021-45596A)

【公開日】令和3年3月25日(2021.3.25)

【年通号数】公開・登録公報2021-015

【出願番号】特願2020-201693(P2020-201693)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和3年6月24日(2021.6.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の始動口への遊技球の入賞を契機として乱数を取得する乱数取得手段と、

図柄変動の開始条件の成立時に、前記乱数に基づき当りであるかを判定する判定手段と、

、前記判定手段の判定結果に基づいて、前記図柄変動を行い前記判定手段による判定結果を図柄表示装置に表示させる図柄制御手段と、

前記判定手段による判定結果に基づいて複数ある演出の中から現出させる演出を決定する演出決定手段と、

前記演出決定手段によって決定された演出を実行する演出実行手段と、

前記演出実行手段が実行する演出を表示する演出表示装置と、を備える遊技機であって、

、カウントダウンする表示を前記演出表示装置に形成されたカウントダウン表示領域に表示することを可能とし、

前記カウントダウンする表示は、前記カウントダウンする表示が開始された際に表示された値を段階的に減算し、減算が表示された値分行われると終了されるものであり、

前記カウントダウンする表示が終了される際においてはカウントダウン終了契機表示が表示されるようにされており、

前記図柄変動が行われているときに、前記演出表示装置に表示されている前記カウントダウンする表示を前記カウントダウン終了契機表示の表示を伴わずに非表示にする第1態様と、前記演出表示装置に表示されている前記カウントダウンする表示を非表示とすることなく前記カウントダウンする表示を続ける第2態様と、があり、

前記演出表示装置に表示されている前記カウントダウンする表示を非表示とすることなく前記カウントダウンする表示を続ける前記第2態様よりも、前記演出表示装置に表示されている前記カウントダウンする表示を前記カウントダウン終了契機表示の表示を伴わずに非表示にする前記第1態様の方が前記当りの期待度が高いとされており、

前記演出表示装置に表示されている前記カウントダウンする表示を前記カウントダウン終了契機表示の表示を伴わずに非表示にしたあと、該非表示とされた前記カウントダウンする表示を前記図柄変動が行われているときに再表示させることを可能とし、

前記カウントダウンする表示を前記カウントダウン終了契機表示の表示を伴わずに非表示にする前記第1態様を実行する場合は、前記カウントダウンする表示を非表示にしているなかで前記当りの期待度が実行態様によって異なる主予告演出を実行し、

前記カウントダウンする表示が非表示とされているなかで実行される前記主予告演出は、前記主予告演出の実行時間が把握困難に前記図柄変動を開始してから前記演出表示装置に表示されている前記カウントダウンする表示を非表示とするまでの時間よりも長い時間前記カウントダウンする表示が非表示とされた状態で実行され、

前記カウントダウンする表示が前記カウントダウン終了契機表示の表示を伴わずに非表示とされてから開始される前記主予告演出が行われる図柄変動よりも前に行われる図柄変動においても前記カウントダウンする表示を前記演出表示装置に表示させ前記主予告演出が行われる図柄変動とに跨ってカウントダウンを可能とし、

前記演出表示装置に表示されている前記カウントダウンする表示を前記カウントダウン終了契機表示の表示を伴わずに非表示にしたあと、該非表示とされた前記カウントダウンする表示を前記図柄変動が行われているときに再表示させると、該再表示させることを示唆することなく再表示させ、

前記カウントダウンする表示を非表示にする場合は、前記カウントダウンする表示のみならず前記演出表示装置に形成された前記カウントダウン表示領域自体も非表示とすることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

そこで、本発明は、カウントダウンする表示をする遊技機において、カウントダウンする表示が終了するまでにカウントダウンする表示を非表示にし、遊技者に高揚感を与えることが可能な遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

所定の始動口への遊技球の入賞を契機として乱数を取得する乱数取得手段と、図柄変動の開始条件の成立時に、前記乱数に基づき当りであるかを判定する判定手段と、前記判定手段の判定結果に基づいて、前記図柄変動を行い前記判定手段による判定結果を図柄表示装置に表示させる図柄制御手段と、前記判定手段による判定結果に基づいて複数ある演出の中から現出させる演出を決定する演出決定手段と、前記演出決定手段によって決定された演出を実行する演出実行手段と、前記演出実行手段が実行する演出を表示する演出表示装置と、を備える遊技機であって、カウントダウンする表示を前記演出表示装置に形成されたカウントダウン表示領域に表示することを可能とし、前記カウントダウンする表示は、前記カウントダウンする表示が開始された際に表示された値を段階的に減算し、減算が表示された値分行われると終了されるものであり、前記カウントダウンする表示が終了される際においてはカウントダウン終了契機表示が表示されるようにされており、前記図柄変動が行われているときに、前記演出表示装置に表示されている前記カウントダウンする表示を前記カウントダウン終了契機表示の表示を伴わずに非表示にする第1態様と、前記演出表示装置に表示されている前記カウントダウンする表示を非表示とすることなく前記カウントダウンする表示を続ける第2態様と、があり、前記演出表示装置に表示されている前記カウントダウンする表示を非表示とすることなく前記カウントダウンする表示を続ける前記第2態様よりも、前記演出表示装置に表示されている前記カウントダウンする表

示を前記カウントダウン終了契機表示の表示を伴わずに非表示にする前記第1態様の方が前記当りの期待度が高いとされており、前記演出表示装置に表示されている前記カウントダウンする表示を前記カウントダウン終了契機表示の表示を伴わずに非表示にしたあと、該非表示とされた前記カウントダウンする表示を前記図柄変動が行われているときに再表示させることを可能とし、前記カウントダウンする表示を前記カウントダウン終了契機表示の表示を伴わずに非表示にする前記第1態様を実行する場合は、前記カウントダウンする表示を非表示にしているなかで前記当りの期待度が実行態様によって異なる主予告演出を実行し、前記カウントダウンする表示が非表示とされているなかで実行される前記主予告演出は、前記主予告演出の実行時間が把握困難に前記図柄変動を開始してから前記演出表示装置に表示されている前記カウントダウンする表示を非表示とするまでの時間よりも長い時間前記カウントダウンする表示が非表示とされた状態で実行され、前記カウントダウンする表示が前記カウントダウン終了契機表示の表示を伴わずに非表示とされてから開始される前記主予告演出が行われる図柄変動よりも前に行われる図柄変動においても前記カウントダウンする表示を前記演出表示装置に表示させ前記主予告演出が行われる図柄変動とに跨ってカウントダウンを可能とし、前記演出表示装置に表示されている前記カウントダウンする表示を前記カウントダウン終了契機表示の表示を伴わずに非表示にしたあと、該非表示とされた前記カウントダウンする表示を前記図柄変動が行われているときに再表示させるとき、該再表示させることを示唆することなく再表示させ、前記カウントダウンする表示を非表示にする場合は、前記カウントダウンする表示のみならず前記演出表示装置に形成された前記カウントダウン表示領域自体も非表示とすることを特徴とする遊技機。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の一態様によれば、カウントダウンする表示を非表示にすることで遊技者に高揚感を与えることができる。